

## 予算の概要 介護保険（介護勘定）

### 収入

科目	予算額(千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額(円)
介護保険収入	349,848	160,187
繰入金	14,603	6,686
雑収入	3	1
合計	364,454	166,875

### 支出

科目	予算額(千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額(円)
介護納付金	339,344	155,377
介護保険料還付金	100	46
雑支出	10	5
予備費	25,000	11,447
合計	364,454	166,875

#### <予算の基礎数値>

- ・被保険者数 3,769人
- ・平均標準報酬月額 662,522円
- ・総標準賞与額(年間合計) 2,312,587千円
- ・被保険者の平均年齢 43.91歳
- ・健康保険料率(調整保険料含む) 84.00/1,000  
(事業主 55.93/1,000 被保険者 28.07/1,000)
- ・介護保険料率 17.0/1,000  
(事業主 8.5/1,000 被保険者 8.5/1,000)

## 第157回組合会 その他特記事項

- 新型コロナウイルス感染予防のため  
WEB会議方式により開催
- 理事長専決事項報告・承認



## 予算の概要 健康保険（一般勘定）

### 収入

科目	予算額(千円)
健康保険収入	2,623,301
保険料収入	2,622,770
国庫負担金収入	530
その他	1
調整保険料収入	45,450
繰入金	1
国庫補助金収入	1,570
財政調整事業交付金	8,000
雑収入	14,145
合計	2,692,467
経常収入合計(A)	2,636,011

### 支出

科目	予算額(千円)
事務費	83,585
保険給付費	1,216,432
法定給付費	1,145,248
付加給付費	71,184
納付金	982,462
前期高齢者納付金	245,755
後期高齢者支援金	734,684
病床転換支援金	2
日雇拋出金	2,000
退職者給付拋出金	21
保健事業費	144,062
財政調整事業拋出金	45,450
連合会費	817
積立金	3,499
予備費	212,000
還付金・その他	4,160
合計	2,692,467
経常支出合計(B)	2,431,507

経常収入支出差引額 (A) - (B) 204,504千円

※四捨五入の端数処理のため、各科目の合計が収入・支出合計等と一致しない場合があります。

度の介護納付金は令和3年度予算比1,590万円(4.9%)増の3億3,934万円を計上しています。令和3年度は準備金の繰入れにより介護保険料率を維持しましたが、今後も納付金の着実な増加が見込まれることから、令和4年度は料率を千分の14から千分の17に引き上げました。負担割合は事業主と被保険者の折半(1000分の8.5ずつ)です。今回の引き上げにより、今後の大幅かつ急激な料率引き上げを回避し、必要に応じた繰入れを行いながら、計画的な料率設定を行う予定です。

# けんぽだより

商船三井健康保険組合  
http://mol-kenpo.or.jp/

春号 **MOL**  
2022.4 商船三井グループ

## 令和4年度予算のお知らせ

# 健康保険料率を前年度と同率の千分の84に据え置いての予算編成

## 介護保険料率は前年度比千分の3引上げ

当健保組合の令和4年度予算が、2月22日に開催された第157回組合会において可決・承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

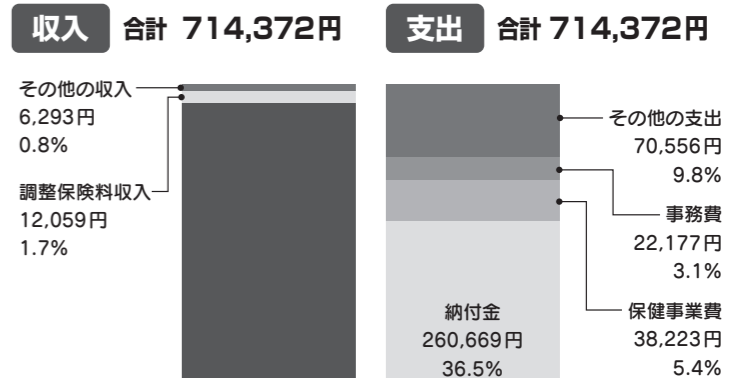
### ●健保組合を取り巻く状況

健康保険組合連合会が公表した令和2年度決算見込によると、全健保組合の経常収支は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から保険料収入が減少したものの、感染拡大による受診控えなどにより保険給付費が減少し、約3,000億円の黒字となっています。しかしながら、黒字は一時的な要因によるものであり、高齢者医療を支えるための負担は年々増加傾向にあるため、依然として健康保険組合を取り巻く状況は厳しいことに変わりはありません。

そのような中、当健保組合は令和4年度の健康保険料率を前年度と同率の千分の84に据え置いて予算編成を行いました。令和2年度のコロナ禍による高齢者の受診控えなどにより、前期高齢者納付金の精算分が戻ることで、高齢者医療への納付金が減ることから、経常収支で2億450万円の黒字予算となりました。令和4年度は前期高齢者納付金が令和3年度比で約5億円減となりました。ただしこれは例外的な事象であり、令和5年度以降の反動増が予想されるため注意が必要です。

当健保組合は、本年度も引き続き加入者の皆様の健康維持、増進に向けた事業を推進してまいります。皆様方におかれましても、当健保組合の行っている各種健診事業等を積極的に利用され、健康の維持増進に努めてくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

### 被保険者1人当たりの収支の割合【健康保険（一般勘定）】



※四捨五入の端数処理のため、各科目の合計が収入・支出合計等と一致しない場合や、各科目の合計割合が100%にならない場合があります。

### ●健康保険（一般勘定）

収入の大部分を占める保険料は、前年度予算より約1億円増の26億2,277万円を見込みました。支出は皆様やご家族の医療費に使われる保険給付費が12億1,643万円、高齢者医療への納付金は9億8,246万円を見込みました。令和4年度の納付金は前述のように令和3年度予算に比べ5億156万円の減

願いたします。また、令和4年度も引き続き「データヘルス事業」を積極的に実施し、データ分析に基づく効果的な保健事業の計画を展開してまいります。

### ●介護保険（介護勘定）

#### 介護保険料率を千分の17に改定

健保組合が国に納める介護納付金が年々増加しています。令和4年

# ご家族が就職や結婚をされたときは 扶養除外の手続きと 保険証の返却を忘れずにお願いします

被扶養者となっているご家族が、就職や結婚などで新たな健康保険に加入したときなど、次のようなケースに当てはまるときは被扶養者ではなくなります。「**被扶養者(異動)届**」に**保険証を添えて、すみやかに事業所へ届け出てください**。ご理解とご協力をお願いいたします。

## こんなときは被扶養者ではなくなります

- 就職や結婚などで他の健康保険に加入したとき
- 亡くなったとき、別居したとき
- 75歳になったとき
- 国内に居住しなくなったとき(例外規程あり)
- アルバイトやパートなどの年収が基準額を超えたとき

### ▶届け出は5日以内をお願いします

前記のような異動が発生した場合、5日以内に「**被扶養者(異動)届**」に**保険証を添えて、事業所の担当者に届け出てください**。

# 今年も健診を受けましょう!

## ◆なぜ年に1回の健診が必要なの?

### 生活習慣病には 自覚症状がないことも

「体調がいいから大丈夫」と自分の健康を過信していませんか?  
糖尿病で病院にかかった人の半数近くは自覚症状がなかったと回答しています。

### 病気のリスクは 年齢とともに高まる

自覚症状がなくても、加齢とともに病気にかかるリスクは確実に高まります。糖尿病のほか、高血圧性疾患、脂質異常症も同様です。



## ◆「コロナが怖い…」からこそ健診が大切です

新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出を自粛して健診の受診を控える人もいるかもしれません。新型コロナウイルスは、感染しても約8割は無症状や軽症で済む一方、約2割で重症化するといわれています。重症化リスクを高める要因として、年齢や喫煙習慣に加え、生活習慣病や肥満が指摘されています。

年に1回健診を受けて、病気のリスクを早期に発見して改善に取り組むことで、新型コロナウイルスの重症化予防にもつながります。



# 《4月から》医療費が変わりました

病院などで受ける医療費の価格表にあたる「診療報酬」は、2年に1回改定されます。令和4年4月から医師の件費や技術料にあたる「本体」部分は+0.43%、薬の価格や医療材料費にあたる「薬価等」部分は▲1.37%の改定が行われました。

### ●診療報酬改定率

「本体」部分	+0.43% ↑
「薬価」部分	▲1.37% ↓

以下、4月(10月)から施行される健康保険の変更点を抜粋してお知らせします。

## ○不妊治療が 保険適用になりました

従来、保険適用となる不妊治療は一部に限られ、保険適用外の体外受精や顕微授精には公費で助成が行われてきました。令和4年4月からは、人工授精、体外受精、顕微授精、男性不妊治療も保険適用となり、3割負担で受けられるようになりました。技術の標準化と質の向上が期待されます。

## ○「リフィル処方せん」で受診なしで 同じ薬を受け取れます

「今日はお薬をもらいにきました」という慢性疾患の患者が多くなっています。症状が安定している患者については、同じ処方せんを3回まで反復利用し、医師の診察なしで薬をもらうことができるようになりました。

## ○初診からのオンライン診療、 コロナ特例終了後も受けられます

新型コロナウイルス感染拡大に対応するため、初診からのオンライン診療(電話診療を含む)が特例的に認められています。国では「オンライン診療視診」を改定し、オンライン診療の恒久化を図っています。

令和4年4月からは、オンライン診療の初診料が新しく定められ、医療機関と患者と時間・距離要件などは撤廃されました。オンライン診療の医学管理料も見直され、対面診療の約87%の金額が設定されます。

- ・初診料(情報通信機器を用いた場合) 2,510円
  - ・再診料(情報通信機器を用いた場合) 730円
  - ・外来診療料※(情報通信機器を用いた場合) 730円
- ※一般病床200床以上の病院の再診

## ○マイナンバーカードを保険証として 利用できる医療機関では 初診料・再診料・調剤管理料に加算

マイナンバーカードを保険証として利用できる医療機関・薬局に受診した場合、初診で70円、再診で40円、薬局で30円が加算されます(月1回)。本人確認が素早くでき、過去の薬や特定健診のデータに基づく医療が受けられる「オンライン資格システム」の普及を図るための変更です。

※患者負担は上記の2割または3割

## ○ジェネリック医薬品や バイオ後続品の使用を促進します

ジェネリック医薬品の調剤割合が高い薬局には加算し、低い薬局には減算するしくみが導入されています。「調剤割合75%以上」の薬局が加算の対象となりましたが、「調剤割合80%以上」に引き上げられました。また、バイオ後続品の使用促進を図るため、外来化学療法を受けている患者にバイオ後続品を導入する場合の加算が新たに設けられました。

## ○10月から 紹介状なし大病院受診の 自己負担が増えます

大病院への軽症患者の集中を改善するため、紹介状なしで大病院を受診した場合、初診5,000円以上・再診2,500円以上の定額負担(全額自己負担)が課されています。この定額負担が初診2,000円・再診500円引き上げられ、引き上げ分はかかった医療費から差し引かれます。また、定額負担の対象となる大病院の範囲も拡大されます。

## ジェネリック医薬品 価格が安い以外のメリットとその課題は？

価格が安いことが最大のメリットとしてその利用率が高まっているジェネリック医薬品ですが、先発医薬品と有効成分や製法は同様ですが、下記のようなさまざまな改良が加えられています。

- ・のみにくい大きな錠剤を小さくする
- ・形が似ているほかの薬と間違えないよう、色や形を変える
- ・錠剤をのみこめない人のために、粉末や液体、ゼリー状の薬をつくる
- ・においや味を改良する



ジェネリック医薬品というと、先発医薬品との効果や副作用などの違いが常に課題となりますが、国はその不安材料を取り除くためにジェネリック医薬品について次の試験を行っています。

①規格試験 有効成分の純度や量を確認する試験

②溶出試験 新薬と同じように体内で溶けるかを確認する試験

③生物学的同等性試験 新薬と同じ速さで同じ量の有効成分が体内に吸収されるか確認する試験

④安定性試験 品質が温度や光などに影響されず、長期に保存しても変化がないかどうかを確認する試験  
以上の結果を慎重に検討して販売の許可が与えられるようになっています。

しかし、厳しい試験を重ねても「使用感や効果が異なる」「思わぬ副作用があらわれる」可能性がゼロになるということはありません。どうしても使用に不安がある場合は「オーソライズド・ジェネリック」を使用してみましょう。これは先発医薬品のメーカーが特許の使用権を与えたジェネリック医薬品で、有効成分だけでなく添加物や薬の製造方法まで先発医薬品とまったく同じとなっています。

## 柔道整復師（整骨院、接骨院）にかかる方へ

整骨院や接骨院は保険医療機関ではありません。「健康保険が使えます」と表示があっても、病院や診療所での治療とは取り扱いが異なり、健康保険が使える範囲は限られています。利用する前に、けがや痛みの原因が健康保険が使える範囲であるかどうかを確認しましょう。

### ◆ 施術を受けるときのチェックポイント

1. いつ、どこで、何をして、どんな症状があるのかを正確に伝えましょう。

※外傷性の負傷でない場合や、負傷原因が労働災害に該当する場合や通勤途上に起きた負傷の場合、健康保険は使えません。また、交通事故の場合は健保組合に伝えてください。

2. 「療養費支給申請書」の負傷名、日数、金額をよく確認して、署名または捺印しましょう。

3. 領収書を必ずもらって保管しておき、医療費通知で確認しましょう。

4. 施術が長期にわたる場合、内科的要因も考えられますので、医師の診断を受けましょう。

### 健康保険が使える場合

- 骨折・脱臼  
応急手当をする場合を除き、あらかじめ医師の同意が必要。
- 打撲・捻挫・挫傷（肉離れ）  
外傷性が明らかなものに限る

### 健康保険が使えない場合 （全額自己負担となります）

- 単なる疲労や慢性的な要因からくる肩こりや筋肉疲労
- 慢性病や症状の改善が見られない長期の施術
- 保険医療機関（病院、診療所など）で同じ負傷等を治療中のもの
- 労災保険が適用となる仕事や通勤途上での負傷